

防災士に学ぶ

事前の備えといざというときの行動について、そのポイントを防災士に聞きました。

問 危機管理課



みぞぐち ゆつき 溝口 悠槻さん
にしの じゅんのすけ 西野 順之介さん

筑紫南地区防災士(筑紫野南中学校3年生)

防災士紹介

地域で活躍する中学生防災士

西野さんが防災士のことをテレビで知ったことをきっかけに、2人で試験に挑み、共に市内初の中学生防災士となりました。「災害時、大人が仕事などで地域に少ない場合などに中学生は大きな力になるので、いざというときに活躍できるように備えたいです」と話し、最近では、友人に無料で取得できる救急救命の受講を勧めるなど、自分の身近なところから災害時に役立つ知識や意識を高めるようにしています。

1 ハザードマップを確認しよう

洪水・土砂災害・内水ハザードマップで、周りに潜む危険を確認しましょう。日中は家族が近くにいない可能性が高く、避難経路や集合場所など、いざというときに慌てないように家族で話し合しましょう。



インターネット上でハザードマップを公開しています。

ID 26625

ちくしのデジタルマップ

検索

2 避難持ち出し品

持ち出し袋の重さのめやすは、成人男性で15キロ、成人女性で10キロ、子どもで「体重の20パーセント」です。

例えば

- 貴重品
- 救急用具
- 非常食品
- 衣料品
- 生活用品 など

災害時における健康を守るために、口腔ケア用品も備えておきましょう。



両手が自由になるリュックがおすすめです。ビニール袋は、食器や雨具、防寒具など、さまざまな用途で活躍するので多めに用意しておくことをおすすめします。

3 使いやすい手段で情報を取得しよう

テレビやラジオ、インターネットなど、自分に合った方法で情報収集できるように準備しましょう。災害時はインターネットが使えなくなる場合もあるので、複数の手段を使うようにしておきましょう。



●インターネットや電子メールで

▷市ホームページ・公式SNS(LINE、X、Facebook)

▷防災ナビまもるくん

(<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/bousai-navi-mamorukun.html>)

県から防災情報や地域の安全情報などをスマートフォンアプリの通知機能でお知らせします。



●電話で(テレフォンサービス)

固定電話やFAXに緊急情報や特別警報、避難情報などをお知らせします。登録が必要です。詳しくは危機管理課にお問い合わせください。



防災危機管理専門官 おおaura masato 大浦 真査登 (危機管理課令和8年度会計年度任用職員)

本市では、近年多発する豪雨災害や地震など、さまざまな災害に迅速かつ的確に対応するため、新たに「防災危機管理専門官」を配置しました。

防災危機管理専門官は、自衛隊で災害対応や危機管理業務に従事した経験があり、平時には防災訓練や啓発を行い、災害発生時には関係機関との連携調整や情報収集など、防災対応の役割を担います。



4 避難のタイミングはレベルで判断しよう

5月29日(金)より、テレビやラジオで伝えられる防災気象情報の名称などが分かりやすく変わり、警報・注意報の情報名にレベルが付けられます。新たな防災気象情報などを確認し、早めの対策や避難を心がけましょう。

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	高潮 海水面の上昇や波の打上げによる浸水	住民がとるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
〈警戒レベル4までに危険な場所からかならず避難！〉					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は 早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める



5 避難所について知っておこう

●避難所と徒歩での避難経路は、事前に確認しておこう

夜間や悪天候の中での避難となる場合もあります。落ち着いて安全に避難できるように、避難経路を事前に歩いて危険な箇所がないかを確認しておきましょう。

●避難とは、避難所へ行くことだけじゃない

自宅が安全であれば自宅で過ごす「在宅避難」や、安全な親族・知人宅へ身を寄せる「縁故避難」も有効な選択肢です。自分や家族の状況に合わせた避難方法を、家族で話し合っておきましょう。

※市内小学校は、夏休み期間中に体育館の空調工事を行うため、工事期間中は避難所となりません。



重要水防地域30箇所を指定 2172

筑紫野市水防協議会では、毎年、大雨による被害が予想される危険箇所を調査し、重要水防箇所として指定しています。指定した場所は、河川の溢水(水があふれ出る)、土砂の流出、堤防の決壊などの恐れがあるところ。万が一の場合に万全の態勢をとるため、水防計画を策定し、特に重要水防地域に指定された場所は、関係機関などで絶えず注意が払われています。詳細は、市ホームページをご確認ください。